



宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校附属中学校学校だより 第4号 (H22.5.8)

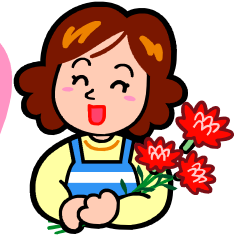
宮崎県都城市妻ヶ丘町27-15

TEL: 0986-23-0223 FAX: 0986-24-5884

校長 大竹 正純

質実剛健

「実力と気品をそなえ、たくましくあれ！」



都城泉ヶ丘附属中の「探究」いよいよ始まる！

本校では、特色ある教育活動として「探究」と題し、「自然科学」・「キャリア」を大きなテーマとして掲げた探究・体験を生かした活動を行っていきます。この活動は、生徒の知的好奇心を喚起させ、課題を発見して、自ら調べ、友だちと議論し、発表する、ということを行いながら、学びを深めるとともに、論理的な思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力、プレゼンテーション能力等を育成していくものです。

「都城泉ヶ丘附属中の探究」は、中学1年から高校2年まで、発達段階に応じてグループ研究から個人研究へと発展させていきます。最初は、探究活動をどのように進めていくのか（調べ方、発表の仕方など）、今後の活動の基本となることを身につけていくことになります。

具体的な活動としまして、下記の図をご覧ください。

自然科学探究ガイダンス	キャリア探究ガイダンス
-------------	-------------

「知る」ために必要な知識と方法を身につける。	
<知る> (中1~中2) <input type="checkbox"/> 宿泊体験学習 (中1) <input type="checkbox"/> 科学の謎に迫る①~④ (中1) <input type="checkbox"/> 出前授業①~③(中2)	<知る> (中1~中2) <input type="checkbox"/> 福祉体験学習 (中1) <input type="checkbox"/> 職場見学 (中1) <input type="checkbox"/> 大学探訪①~② (中2) <input type="checkbox"/> 企業探訪①~② (中2)

「もっと知る」ための探究能力を磨く。	
<深める> (中3~高1) <input type="checkbox"/> 修学旅行 (中3) <input type="checkbox"/> 大学との連携 (高1) <input type="checkbox"/> 出前授業①~②(高1)	<深める> (中3~高1) <input type="checkbox"/> 議会見学 (中3) <input type="checkbox"/> 職業体験学習 (中3) <input type="checkbox"/> 先輩に学ぶ①~② (中3) <input type="checkbox"/> 先輩に学ぶ③~④ (高1)

「もっと知りたい」をかたちにする。	
<伸ばす> (高2~) <input type="checkbox"/> 修学旅行 (高2) <input type="checkbox"/> 大学との連携 (高2) <input type="checkbox"/> 出前授業③~④(高2)	<伸ばす> (高2~) <input type="checkbox"/> 先輩に学ぶ (高2~高3) <input type="checkbox"/> 大学：公開講座への参加 (高2)



キャリア教育って何だろう！

今日、社会の急激な変化のなか……
大人も子どもも、自分らしく生きることにとまどっています。

そんな今を生きる子どもたちに、
「学ぶこと」の大切さ
「働くこと」の喜びや厳しさ
そして、「生きること」のすばらしさ……。

それらを教えていくのが、
キャリア教育です。



<進路コーナー>

泉ヶ丘高校生の頑張り！

平成22年度入試国公立大学合格者155名 私立大学合格者212名

大学別では、九州大学14名の他、東京大学、京都大学、一橋大学、大阪大学、筑波大学、神戸大学、東北大学の難関大学をはじめ、熊本大学10名、鹿児島大学29名、宮崎大学33名等です。

学部別では、医療系25名、理学系14名、工学情報系34名、農業系14名、教育系23名、文学系8名、法学系6名、経済系18名、国際系7名等です。

私立大学は、関東地方で青山学院大学、早稲田大学、明治大学、法政大学、関西地方では、同志社大学、立命館大学、京都女子大学、武庫川女子大学、九州地方では、西南学院大学、福岡大学、中村学園大学、九州保健大学等が主な合格先です。

自分の志望大学に合格している生徒を見ると、「最後まであきらめずに、しつこく、こつこつと、食い下がって勉強している生徒です。

さあ！附属中の生徒よ！大きな志をもって、先輩の姿を見習って、今を大事に一生懸命がんばりましょう。今のがんばりが必ず未来につながります。



生徒会立会演説会



4月28日（水）に高校の第125期生生徒会立ち会い演説会が開催されました。静粛な中に立候補者が堂々と演説を行っていました。中学生も真剣に聞いていましたが、高校生と同様に中学生も自分たちの学校なんだということをもちと自覚し行動に示すことを期待します。

宿泊体験学習を終えてのお礼文から……

先日は、大変お世話になりました。活動の一つ一つがとてもおもしろかったです。特に、御池ハイキングは普段の生活の中ではなかなか知ることができないような植物の名前が自然の様子を教えてください、とても勉強になりました。また、東霧島神宮から見える御池はとてもきれいで、とてもリフレッシュした気持ちになることができました。…（榮福くん）

……御池ハイキングや飯ごう炊飯、焼き板など他にもたくさんの経験をすることができました。御池ハイキングでは、きつい山道を私たちと登り、植物などの説明をしていただきました。焼き板は、初めての経験でとても楽しかったです。焼き板は大事にしていきたいと思います。飯ごう炊飯では、時間をかけてカレーの作り方や後片付けの仕方などを説明していただきました。他にも天体観測、レクリエーション、灰だしなどどれも心に残る思い出となりました。…この宿泊体験学習で女子だけでなく男子とも仲が良くなりました。これも自然の家の皆様が一生懸命私たちに接してくれたからだと思います。これからもお体に気をつけてお仕事がんばってください。大変お世話になりました。…（大井さん）

特集

コミュニケーションのとり方① 「叱ること」

叱るということは、褒めることよりも難しいものです。会社などで上司は部下にどのような配慮をして叱るのでしょうか？

まず、叱る行為の前提は、今後の行動が叱ることにより改善されることを期待しているところです。したがって、仕事の仕方や行動にスポットを当てて叱ります。間違っても、部下の人格や性格を非難することがあってはなりません。

このことをお子様にあてはめて考えると失敗やいけない行動をしたときに、失敗やいけない行動を具体的に指摘します。

次に、どのように改善していくのか具体的な方法をアドバイスします。

さらに、お子様を励ますことです。

このような対応が、失敗を契機にして成功を引き出すことにつながる。とともに、お子様との良好な信頼関係を構築することができます。

